令和２年２月定例会会議録

（令和２年２月１２日）

八代市教育委員会

八代市教育委員会２月定例会会議録

【開 催 日】　令和２年２月１２日（木）

【場　　所】　八代市千丁支所２階　庁議室

【出 席 者】
北　岡　　博　教育長
冨　田　壽　人　教育委員
松　永　松　喜　教育委員
奥　村　留美子　教育委員
水　田　千　春　教育委員

【出席職員】
桑　田　謙　治　教育部長
松　岡　　猛　教育部次長
和久田　敬　史　教育部次長
機　　智三郎　教育政策課長
西　村　　裕　学校教育課長
井　上　雅　晴　学校教育課課長補佐
有　田　優　子　学校教育課指導主事
有　馬　健　一　教育部首席審議員兼教育施設課長
岩　崎　龍　一　生涯学習課長
沖　村　　巧　教育サポートセンター所長
澤　井　光　郁　博物館未来の森ミュージアム副館長

【事 務 局】
坂　部　功　泰　教育政策課教育政策係長
荒　木　秀　仁　教育政策課主任

【議　題】　＜議案案件＞

① 八市教委議第２号
八代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について

② 八市教委議第３号
八代市公民館条例施行規則の一部改正について

③ 八市教委議第４号
八代市さかもと青少年センター条例施行規則の一部改正について

④ 報告第２号
熊本版コミュニティ・スクール及び、(国版) コミュニティ・スクールの導入について

⑤ 報告第３号
令和元年度熊本県学力・学習状況調査の結果について

１．開会　（午後１３時５９分　開会）

２．教育長報告
北岡教育長　前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告。

３．議題
北岡教育長　報告第３号、令和元年度熊本県学力・学習状況調査の結果について、適切な審議環境を確保する必要があるため、秘密会にすることを提案する。

教育委員　全員異議なし

北岡教育長　報告第３号の令和元年度熊本県学力・学習状況調査の結果については、八代市教育委員会会議規則第５条に基づき秘密会とする。

北岡教育長　本日の議事の進め方について、議題のうち八市教委議第２号から報告第２号を審議した後、議事を一時中断し、各課の連絡事項を行う。その後、秘密会とした報告第３号の審議を行う。

〈八市教委議第２号〉八代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について

機教育政策課長　（資料をもとに説明）
令和２年度から鏡小学校と鏡西部小学校とが統合となることに伴い、鏡小学校で新たにスクールバス運行が開始となることから、関係要綱の一部を改正する必要があるため、この議案を提出する。

北岡教育長　鏡小学校及び鏡西部小学校の区域と説明があったが、鏡小学校も区域になるのか。

機教育政策課長　　スクールバス運行する学校が鏡小学校で、対象となる児童が、旧鏡西部小学校区の区域の児童となる。

松永教育委員　　スクールバスは鏡西部小学校から出発するのか。

機教育政策課長　　鏡小学校から出発し、４ヶ所の停留所を回り、鏡小学校に戻ってくる。

奥村教育委員　　４ヵ所の停留所はどこにあるのか。

機教育政策課長　　芝口区域、野崎区域にあり、それぞれ２ヵ所ある。民間の会社の敷地や、地区公民館、公園、神社が停留所となっている。

【議案第２号　承認】

〈八市教委議第３号〉八代市公民館条例施行規則の一部改正について

岩﨑生涯学習課長　　（資料をもとに説明）
八代市公民館の使用料を還付する場合の基準を定めるため、関係規則の一部を改正する必要があるため、この議案を提出する。

（質問等なし）

【議案第３号　承認】

〈八市教委議第４号〉八代市さかもと青少年センター条例施行規則の一部改正について

岩﨑生涯学習課長　　（資料をもとに説明）
さかもと青少年センターの使用料を還付する場合の基準を定めるため、関係規則の一部を改正する必要があるため、この議案を提出する。

（質問等なし）

【議案第４号　承認】

〈報告第２号〉熊本版コミュニティ・スクール及び、（国版）コミュニティ・スクールの導入について

西村学校教育課長　（資料をもとに説明）

本市では、平成１７年８月から、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することを目指し、校長が保護者や地域の方々の意見を幅広く聞くために、全ての学校に学校評議員制度を導入している。

平成２８年からは、開かれた学校づくりを積極的に推進するため、保護者や地域の方々と連携・協働して、子どもたちの成長を支えていく学校の仕組みとして熊本版ＣＳの導入を提案し、令和２年４月から、全ての学校・園で実施を促してきた。多くの学校では、学校評議員制度を残しつつ、熊本版ＣＳの整備を進めてきた。令和２年４月からは、全ての学校・園で導入の見込みとなっている。実施状況については資料６ページをご覧頂きたい。

平成２９年３月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、いわゆる地教行法が改正され、国版ＣＳの設置が、各自治体の教育委員会に対して努力義務化されたことを受け、国版の導入を強く打ち出してきた。本市としても、新学習指導要領で示された地域に開かれた教育課程実現のためにも、令和２年度から、熊本版ＣＳを通して、保護者や地域住民が学校経営に責任をもって参画する制度を充実させ、国版への移行の準備が整った学校・園から順次、国版ＣＳを導入し、令和４年度末を目標に、全ての学校・園で移行完了を目指したいと思う。

令和２年度は、第二中学校をコミュニティ・スクール移行推進モデル校に指定して国版ＣＳを先行実施し、成果と課題を明らかにして、各学校、園の国版移行を後押ししたい。なお、八代支援学校においても来年度から国版ＣＳを先行実施する。

また、学校評議員制度では、各学校５名以内の評議員について、各学期３，８００円の報償費を予算措置してきたが、熊本版、国版ＣＳへの移行に伴い学校運営協議会等の委員を１５名、小中連携して設置する場合は２０名を上限として、１回の参加につき１，０００円、年間５回までの実施について予算の内示を受けている。今後の予定としては、学校運営協議会規則等の準備を進め、法令審議委員会の審議を経て、３月の教育委員会において学校管理規則の変更とともに、ご審議をいただきたいとしているところである。

奥村教育委員　前回の定例会では、生涯学習課から地域学校協働活動の報告

があり、学校教育課でも県版ＣＳと国版ＣＳを進めるということであるが、生涯学習課、学校教育課が密に連携をとって進めてもらいたい。
　県版ＣＳから国版ＣＳに移行するにあたって、明確な違いとはどういったものがあるのか。

西村学校教育課長　　学校応援団という名称を用いて県版ＣＳを進めてきたが、これは国版に移行することを視野に入れたものだった。法改正に伴い、国版が努力義務化されたのを受け、生涯学習課の地域学校協働活動と一緒に進めていきたい。

井上学校教育課課長補佐　　国版、県版の違いは根拠法があるか、ないか、である。県版には根拠法がなく、学校長が設置するといえば設置することができる。国版については、法に基づいて教育委員会から委員を任命することになる。国版の学校運営協議会は権限が強く、学校経営の承認や、人事について意見をすることができる。

水田教育委員　　仕事としてとらえてもらうために、委員に対して１回１，０００円の謝金が出ることはいいことであると思う。
　第二中学校が先行実施するということであるが、委員はどのような人を選定するのか。

井上学校教育課課長補佐　　第二中学校がどのような人選を行うかについては、まだ情報を得ていない。多くの学校では、現在の評議員にメンバーを追加するようなかたちになるのではないかと思う。

桑田教育部長　　ＣＳと地域学校協働活動は、一体的活動の推進をうたってあるが、地域学校協働活動のコーディネーターを学校運営協議会の委員にすることができるため、連携を図る意味でもコーディネーターに委員として入っていただきたいと考えている。

冨田教育委員　　生涯学習課と連携して進めるにあたり、現時点での課題、問題点はあるか。

岩崎生涯学習課長　　学校運営協議会の中にコーディネーターが入ることになるため、学校及び地域のことを理解している人材を確保することが大変であると思う。

西村学校教育課長　　現状として、学校の教職員がセッティングをして地域の方から協力を得た行事を行っているが、それらをコーディネートで

きる方に入ってもらいたい。学校のニーズに対応できる人材が見つかるか不安ではある。

奥村教育委員　　地域の人材を見つけることと同時に、地域の人材を育成することにも取り組んでほしい。これらの事業については、地域の人材が大変貴重になるが、地域の方々はその内容や方法等について、学校関係者より知る機会が少ない。地域の力で学校が変わるということを知っていただき、そのためには、地域の方々が躊躇うことなく学校に来てもらえるような配慮や工夫が大切だと思う。身近な事例として、氷川町の取組があるが、地域の方々に理解され主体的に活動してもらえるようになるまで１０余年の期間を要したと聞いている。これから取り組む本市もこれを手本にいい方向に進むことを期待する。

西村学校教育課長　　奥村委員が言ったとおり、氷川町では、地域の方が主体的に動くようになるまでに１０年以上かかったと聞いている。地域が主体的に動くようになって初めてＣＳの良さが出てくる。氷川町では避難訓練も地域主体で実施されている。本市もそのようになればと思う。

奥村教育委員　　前回の生涯学習課の報告では、社会教育指導員が統括コーディネーターになるとのことであったが、現在の活動に加え、新たに仕事が増えることは負担が大きいと感じる。社会教育指導主事の資格を持つ職員もいると聞いているので、指導主事と社教主事が協力して進めてもらいたい。

北岡教育長　　人材の確保が難しいということであるが、始めから１００％を期待するのは難しいと思う。コーディネーターも経験を積むことで力を発揮してくると思うのである程度長い目で見てもらいたい。そうでないと、引き受けてくれる人もいなくなる。まずはやってみるといった気持ちで始めてもらいたい。

（議事一時中断）

４．連絡事項　　学校教育課　第３回校長ヒアリングについて
鏡西部小学校閉校式

教育サポートセンター
くま川教室関係学校交流会について

第３回教育論文実践記録の審査会について

博物館　　冬季特別展のテレビ取材について

事務局　３月定例会日程及び場所の確認
（３/２６　１４：００～　庁議室）

（議事再開）
〈秘密会〉
〈報告第３号〉令和元年度熊本県学力・学習状況調査の結果について

〈秘密会につき、会議内容は省略〉

５．会議録署名委員の指名　　冨田委員・奥村委員

６．閉会　　（午後４時１８分閉会）

令和　　年　　月　　日

署名委員

記録者